



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベリサーブ  
コード番号 3724 URL <http://www.veriserve.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新堀 義之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 高橋 豊

TEL 03-5909-5700

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,266	—	829	—	838	—	537	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	102.97	—
27年3月期第3四半期	—	—

(注)当社は、平成27年3月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、当事業年度より非連結での業績を開示しております。そのため、平成27年3月期第3四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	6,614	—	5,473	—	82.8	—	1,049.22	—
27年3月期	6,339	—	5,001	—	78.9	—	958.75	—

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 5,473百万円 27年3月期 5,001百万円

(注)当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額を算定した金額を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	7.50	—
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注)当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施しております。なお、当該株式分割を考慮した場合の平成27年3月期の年間配当額は、12円50銭(第2四半期末:5円00銭 期末7円50銭)となります。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	34.5	1,000	63.0	1,010	62.5	600	72.8	115.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	5,216,800 株	27年3月期	5,216,800 株
28年3月期3Q	— 株	27年3月期	— 株
28年3月期3Q	5,216,800 株	27年3月期3Q	5,216,800 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施しております。発行済株式数(普通株式)は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提条件その他の関連する事項につきましては、P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

(2) 株式分割について

当社は、平成26年9月10日開催の取締役会において、株式分割を決議し、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に株式分割しております。

(3) 当社は、当社の連結子会社でありました百力服軟件測試(上海)有限公司が、平成27年2月に清算手続を開始したことにより、重要性が乏しくなったため連結の範囲から除外し、当事業年度(平成28年3月期)より連結財務諸表非作成会社となりました。なお、百力服軟件測試(上海)有限公司は、平成27年12月に清算が終了しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
5. 補足情報 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）におけるわが国経済は、内需が底堅く推移する一方で輸出が弱含む傾向にあり、全体としては、引き続き緩やかな回復傾向にあります。他方、世界経済におきましては、米国では景気回復により利上げが実施され、景況感は回復傾向で推移するものの、中東における政情不安、新興国景気の減速や原油安もあり、先行きについては慎重な見方が広がっています。

当社を取り巻く環境といたしましては、製造業では為替相場の円高改善により業績は回復基調にあります。IT業界では、国内経済の緩やかな回復を背景に企業のIT投資が活発化しており、マイナンバーなどの法令改正等の動きや様々なモノがインターネットを介して連携するIoT（Internet of Things）ビジネスの拡大など、新たなITサービスが模索されています。当社ではそのような環境変化を踏まえて、これまでのソフトウェア検証の経験、ノウハウを基にして、お客様企業の開発におけるQCD（Quality（品質）、Cost（費用）、Delivery（納期））向上パートナーになるべく、様々なサービスを提供してきております。

当第3四半期累計期間では、かねてより注力分野として取り組んでいる自動車分野並びにエンタープライズ向けアプリケーション分野において継続的に売上の拡大傾向が続いており、またモバイル機器やデジタル家電などのデジタル機器、産業機器など他の分野も堅調に推移しております。とりわけ、自動車ならびにエンタープライズ向けアプリケーションの両分野においては、大型案件が当第3四半期累計期間に想定以上に伸張いたしました。

また、新たなサービスの検討、開発にも力を入れており、当第3四半期累計期間においては、効率的なテストの実現をするためテスト自動化支援「VsAutoStudioサービス」の提供を開始し、お客様の製品やシステムの開発効率性向上並びに品質向上をすすめる取り組みを行っております。

一方、中途採用によるエンジニアの採用は引き続き継続するとともに、当社の品質向上への取り組みを社外にアピールするため、社外のイベントへの出展や講演に加え、平成27年12月には東京大学医療社会システム工学寄付講座との共同シンポジウムを開催し、IoT（Internet of Things）や自動車、医療など幅広い分野での講演や当社取り組みを紹介いたしました。

以上のような結果、当社の当第3四半期累計期間の売上高は6,266,404千円、営業利益は829,338千円、経常利益は838,107千円、四半期純利益は537,195千円となりました。

なお、サービス別の業績につきましては、後述の「5. 補足情報（1）生産、受注及び販売の状況」をご参照下さい。

当社は、前第3四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を作成しておりましたが、当社の連結子会社でありました百力服軟件テスト（上海）有限公司が、平成27年2月に清算手続きを開始したことにより、重要性が乏しくなったため連結の範囲から除外し、第1四半期累計期間より財務諸表作成会社となりました。従いまして、第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

なお、百力服軟件テスト（上海）有限公司は、平成27年12月に清算が終了しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第3四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

##### （資産の部）

当第3四半期会計期間末における流動資産合計は、前事業年度末に比べ378,987千円増加し、6,198,021千円となりました。これは主に現金及び預金並びに繰延税金資産が減少したものの、関係会社預け金及び受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における固定資産合計は、前事業年度末に比べ104,247千円減少し、416,231千円となりました。これは主に無形固定資産は増加したものの、関係会社出資金及び繰延税金資産が減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前事業年度末に比べ、274,740千円増加し6,614,252千円となりました。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における流動負債合計は、前事業年度末に比べ140,278千円減少し、1,081,082千円となりました。これは主に買掛金、預り金及び前受金が増加したものの未払法人税等及び賞与引当金が減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における固定負債合計は、前事業年度末に比べ56,966千円減少し、59,590千円となりました。これは退職給付引当金が減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前事業年度末に比べ197,245千円減少し1,140,673千円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ471,985千円増加し、5,473,579千円となりました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、4,453,471千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、240,322千円の増加となりました。これは主に法人税等の支払額及び引当金の減少により減少したものの、税引前四半期純利益により増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、888千円の減少となりました。これは主に子会社の清算による収入により増加しましたが、有形及び無形固定資産の取得により減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により、68,477千円の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間においては、先にご説明した通り業績は堅調に推移しております。通期業績予想につきましては、当社における最近の業績動向を鑑み、通期業績予想を下記のように上方修正いたします。

また、配当につきましては、株主の皆様方に対する利益還元を重要な経営課題のひとつと認識しており、安定的な経営基盤の確保並びに事業展開のための内部留保を勘案しながら、利益還元策を実施してきております。平成28年3月期の期末配当につきましては、今回の通期業績予想を踏まえ、1株当たりの期末配当を従来予想の7円50銭から2円50銭増配し、10円の配当予想に修正いたします。これにより年間の配当予想額は、1株当たり15円となります。

なお、詳細につきましては、平成28年1月27日開示の「平成28年3月期 通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,500百万円	740百万円	750百万円	420百万円	80円51銭
今回発表予想 (B)	8,500百万円	1,000百万円	1,010百万円	600百万円	115円01銭
増減額 (B - A)	1,000百万円	260百万円	260百万円	180百万円	—
増減率	13.3%	35.1%	34.7%	42.9%	—
ご参考:前期実績 (平成27年3月期)	6,319百万円	613百万円	621百万円	347百万円	66円57銭

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,381,765	1,246,914
関係会社預け金	2,900,687	3,206,557
受取手形及び売掛金	1,224,582	1,442,624
仕掛品	45,580	107,931
前払費用	71,193	79,074
繰延税金資産	159,431	82,882
その他	35,793	32,037
流動資産合計	5,819,033	6,198,021
固定資産		
有形固定資産	49,877	50,490
無形固定資産	164,530	170,569
投資その他の資産		
投資有価証券	7,000	7,000
関係会社株式	25,321	25,321
関係会社出資金	66,374	—
従業員に対する長期貸付金	4,667	3,991
繰延税金資産	75,209	30,622
敷金及び保証金	127,497	128,237
投資その他の資産合計	306,070	195,171
固定資産合計	520,478	416,231
資産合計	6,339,512	6,614,252
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	207,031	298,558
未払金	24,245	16,715
未払費用	186,554	237,608
未払法人税等	225,865	57,238
未払消費税等	182,690	110,565
前受金	17,504	71,476
預り金	20,439	93,473
賞与引当金	356,000	194,000
その他	1,029	1,445
流動負債合計	1,221,360	1,081,082
固定負債		
退職給付引当金	116,557	59,590
固定負債合計	116,557	59,590
負債合計	1,337,918	1,140,673
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	792,102	792,102
資本剰余金	775,852	775,852
利益剰余金	3,433,638	3,905,624
株主資本合計	5,001,593	5,473,579
純資産合計	5,001,593	5,473,579
負債純資産合計	6,339,512	6,614,252

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	6,266,404
売上原価	4,434,026
売上総利益	1,832,378
販売費及び一般管理費	1,003,040
営業利益	829,338
営業外収益	
受取利息	6,059
為替差益	61
違約金収入	2,500
その他	555
営業外収益合計	9,176
営業外費用	
雑損失	407
営業外費用合計	407
経常利益	838,107
特別損失	
子会社清算損	388
特別損失合計	388
税引前四半期純利益	837,719
法人税、住民税及び事業税	179,387
法人税等調整額	121,136
法人税等合計	300,523
四半期純利益	537,195

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	837,719
減価償却費	52,430
引当金の増減額 (△は減少)	△218,966
受取利息	△6,059
子会社清算損益 (△は益)	388
売上債権の増減額 (△は増加)	△218,042
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△62,351
仕入債務の増減額 (△は減少)	91,527
前払費用の増減額 (△は増加)	△7,881
未払費用の増減額 (△は減少)	50,638
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△72,647
その他	138,570
小計	585,325
利息及び配当金の受取額	5,368
法人税等の支払額	△350,371
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>240,322</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△15,375
無形固定資産の取得による支出	△50,399
敷金及び保証金の回収による収入	3,583
敷金及び保証金の差入による支出	△5,782
従業員に対する貸付金の回収による収入	1,098
子会社の清算による収入	65,986
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△888</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△68,477
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△68,477</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	171,018
現金及び現金同等物の期首残高	4,282,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,453,471

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、システム検証事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社の提供している事業はシステム検証サービス業でありますので、事業上の特性から生産実績を示すことは困難であるため記載しておりません。

②受注及び販売実績

当第3四半期累計期間の受注実績及び販売実績をサービス別に示すと、次のとおりであります。

(単位:千円)

サービス別	受注高	受注残高	販売高
開発支援検証サービス	6,413,401	1,585,732	6,085,595
認定支援サービス	4,200	—	4,200
検証情報サービス	54,987	16,899	57,106
製品検証サービス計	6,472,588	1,602,632	6,146,902
セキュリティ検証サービス	94,440	25,063	89,817
その他のサービス	39,704	18,856	29,685
合 計	6,606,733	1,646,552	6,266,404

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第3四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第3四半期累計期間	
	金額(千円)	割合(%)
パイオニア株式会社	648,365	10.3

3. 当社は、前第3四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を作成していましたが、当社の連結子会社でありました百力服軟件測試(上海)有限公司が、平成27年2月に清算手続きを開始したことにより、重要性が乏しくなったため連結の範囲から除外し、第1四半期累計期間より財務諸表作成会社となりました。従いまして、第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。なお、百力服軟件測試(上海)有限公司は、平成27年12月に清算が終了しております。